



いつも明るく、
何事も“あつい心”で

ふじかわ あつこ 厚子



小倉北区

1期4年で、960件の市民相談!!

高齢者

高齢者用肺炎球菌ワクチンの
定期予防接種を受けていない方の
対象期間を1年延長



子育て

北九州市 子どもを
虐待から守る条例を施行

子育て

放課後児童クラブの
夏休み等長期休暇利用事業を拡充

これまでは通年利用しかできませんでしたが、夏休み等
長期休暇のみの利用が可能になりました。

教育

子ども図書館読書通帳を開始

教育

スクールロイヤーの設置

学校で起こるいじめや保護者とのトラブル等を法的に解決
する弁護士を設置しました。

女性

「妊娠相談ほっとナビ」
案内カードを作成



女性

アプリを活用した妊活支援
～女性の健康管理ルナルナ～

女性

電子母子手帳の導入

自治体の情報、成長記録、予防接種の管理などができます。
本年度より導入予定です。

若者

就職氷河期世代の公務員
特別採用枠の設置

就職氷河期世代(30代半ば～40代半ば)の公務員特別採
用枠と相談窓口を北九州市内に3カ所開設しました。

暮らし

小倉⇄藍島乗車券のリニューアル
藍島船着き場トイレを改修

小倉北区の未来を変える **ふじかわ厚子 わがまちビジョン**

VISION

女性が輝く小倉北区をつくります!

1

子育てをしながら、議員活動に全力で取り組んでいます。
子育てママの代表!働く女性の味方!として、輝く未来をつくります。

VISION

**防災・減災の対策で
安全で安心な街をつくります!**

2

近年、毎年のように各地で自然災害が起こり、甚大な被害が発生しています。
災害に強い、安全で安心な街をつくります。

VISION

**わかりやすい情報発信で
市民と市政をつなぎます!**

3

大手企業で11年。広報担当で培った発信力を活かし、
市民の皆様に、わかりやすく情報を伝えて参ります。



ふじかわの“あつい心”物語

ある時、1人の女性が訪ねて来ました。36歳の働くお母さんです。お母さんには、5歳の娘さん
がいました。女の子は、生まれつき片耳がなく、声を聞くこともできません。病院では「小耳症」
と診断を受けました。生活のために補聴器が必要です。しかし、補聴器は20万円もするのです。
市役所に相談にいきました。「お子様は、片耳が聞えるので身障者にはなりません。」担当者の
言葉に心が折れそうになったそうです。「何としても解決したい。」ふじかわは、この親子の状況
を市役所に訴え続け、ついに、補聴器の助成金を受けることができたのです。“支援の手が届か
ないところに光を当てる”との“あつい心”が、ふじかわのモットーとなっています。



ふじかわ厚子の プロフィール Profile

| | |
|--------|--|
| 生年月日 | 昭和50年5月8日(45歳) |
| 家族 | 夫・息子 |
| 趣味 | 手芸・ピアノ |
| 好きな食べ物 | オムライス |
| 座右の銘 | 「母への感謝」を持ち続ける人 は、正しく、心豊かな人生を歩 んでいける。 |

学歴

昭和63年 福岡教育大学附属小倉小学校 卒業
平成3年 福岡教育大学附属小倉中学校 卒業
平成6年 九州国際大学付属高校 卒業
平成10年 創価大学 経済学部 卒業

職歴

平成10年 鹿島建設(株)九州支店 入社
平成21年 鹿島建設(株)九州支店 退社

役職

●北九州市議会議員現1期
●経済港湾委員会 副委員長
●党総支部庶務部長



あなたの「^{くらし}生命」と「未来」を守る



公明党北九州市議団の重点政策

VISION 1 命を守り抜く

- 感染症検査の大幅な時間短縮や必要な方が必要な検査を受けられるよう唾液による抗原検査をはじめとする検査体制のさらなる強化を推進します。
- 新型コロナウイルス感染症の恐れに直面する保育士に対して、新たな手当を支給できるよう、国へ働きかけ、実現を目指します。

VISION 2 地元経済・雇用対策で暮らしを守り抜く

- 更なる飲食店への支援やテレワーク導入を検討する中小・零細企業への支援を推進します。
- 中小企業等への資金繰り支援として市独自で融資限度額を引き上げる等といった「新型コロナウイルス感染症対応資金」の更なる支援を推進します。

VISION 3 希望あふれる「幸齢社会」

- バス路線廃止地域やバス路線のない地域において市と民間業者が連携して、高齢者交通（おでかけ交通）を推進します。
- 地域包括ケアシステムの構築で、高齢者一人ひとりに合った形で、地域の中で社会とつながり、社会参加することへの支援を充実していきます。

VISION 4 子育て支援ナンバーワン!

- 市立小中、特別支援学校の児童・生徒に支給するタブレット端末を利用した家庭学習環境の充実化を図ります。
- 幼児教育・保育の質向上のため、保育士の処遇改善や受け皿整備による待機児童ゼロの推進をします。

VISION 5 誰もが輝く社会へ(SDGsの推進)

- 障がい者が安心して、生きがいを持って生活を送れるよう、支援体制の強化に取り組みます。
- 性的マイノリティーへの差別や偏見、不適切な取扱いを解消、多様性を認める社会を目指します。
- 若者の地元就職を推進します。
- ポストコロナ社会に向け、デジタルトランスフォーメーション*の加速を促進し、誰もが働きやすい社会を目指します。

*デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

公明党北九州市議団の主な実績

公明党
北九州市議団
実績動画



1 命を守る 新型コロナウイルス対策

皆様の声を市から国へ届け実現

- ◆ 一律10万円の特別定額給付金を実現
市民の皆様の声を市から国へ届け、実現しました。事務処理体制を増員し、迅速に給付できる体制を構築しました。
- ◆ 医療・介護従事者の最大20万円の慰労金給付を実現
感染リスクが高い医療・介護現場で働く方々の声を国に届け、「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金」を実現しました。
- ◆ 店舗への家賃最大8割支援
福岡県の休業要請の対象施設で、休業等を一定期間実施した事業所を対象に40万円を上限に家賃の8割の補助を実現しました。

皆様の声を市へ申し入れして実現

- ◆ PCR・抗原検査による検査体制の強化
- ◆ 市立小中、特別支援学校のすべての児童・生徒にタブレット端末を前倒して配布
- ◆ 感染によるいじめ防止策の推進
- ◆ 生活困窮者への貸付申込窓口体制の強化



6月4日、北橋市長へ申し入れ

2 ネットワークで未来を守る 公明党のネットワーク力を活かし、市・県・国との連携で実現することができました。

- ◆ 子ども医療費助成を中学3年生まで拡充
入院費のみの医療費助成が、通院費も中学3年生まで対象となりました。(令和3年4月より)
- ◆ 下関北九州道路の推進
関門橋と関門トンネルの渋滞や通行止め緩和のため、下関北九州道路の早期建設促進を国土交通大臣に申し入れをしました。
- ◆ 北九州空港滑走路3000m化の推進
航空貨物の物流拠点化を目指し、北九州空港の滑走路3000mへの延長を、国土交通大臣に申し入れをしました。実現すれば北米や欧州との航空貨物の需要が見込まれます。
- ◆ 黒崎バイパスの早期供用開始を推進
- ◆ 若戸大橋・トンネルの無料化を実現



3 誰も置き去りにしない「北九州」づくりで暮らしを守る

全世代共栄の北九州

- ◆ 産婦健診の助成・産後ケアの強化
- ◆ 子どもを虐待から守る条例の実現
- ◆ 高齢者の交通事故防止・サポカー補助金の実現



支え合う共生の北九州

- ◆ 精神障がい者バス運賃割引の導入
- ◆ 「障害者差別解消条例」の実現
- ◆ パートナーシップ宣誓制度の開始



安心安全の北九州

- ◆ ハザードマップの改訂・普及の推進
- ◆ 災害時避難所の運営充実化



北九州市は

子育て支援ナンバーワン! アジア初のSDGsモデル都市に選定
9年連続で政令市1位となりました 全国をリードする取り組み